

意見発表

佐々木委員

付託された諸議案について、公明党として意見を申し上げます。まず、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの充実についてです。先日、川崎市で中学 1 年生が殺害されるという痛ましい事件が発生しました。亡くなられた御本人はもとより、御家族に対し、心より哀悼の意を表します。昨今、子供たちを取り巻く社会環境や家庭環境などが変化し、子供たちの抱える課題もますます多様化していつているように思います。学校現場では、教職員がこうした子供たちの指導、支援に努めているところであることは承知しておりますが、日常業務がある中で子供たちの支援のための知識やノウハウを獲得するのは厳しい状況であることも理解をしております。専門的な知識が必要な場面では、是非、専門家の協力を得て、子供たちの支援を円滑に行うことができるよう、今後とも引き続き効果的な体制の構築に努めるよう要望します。

次に、県立高校の老朽化対策についてです。耐震化対策を進めることも必要ですが、トイレの洋式化をはじめとする校舎等の老朽化対策も、そこで過ごす生徒のことを考えると大変重要なことであり、要望も多いのが現状であります。今後、校舎等の老朽化対策について、県立高校改革を見据え、計画的に取り組むことを要望します。

次に、高等学校奨学金についてです。今年度から、本県でも国の補助制度を活用した奨学のための給付金制度をスタートさせていますが、貸付型、貸与型の奨学金に対する期待は依然として大きいと感じております。その意味で、平成 27 年度当初予算については、引き続き成績要件の緩和を継続するという点は高く評価するところであります。今後とも、学資を真に必要とする高校生が奨学金を借りることができるよう、しっかり制度運営を行っていくよう要望します。

次に、コミュニティ・スクールの導入についてです。少子高齢化の進展や生徒数の減少などを踏まえれば、今後、県立高校の生徒や教職員について、地域から様々な場面で協力が期待されています。また、学校にとっても地域の方々の応援が必要な場面が増えてくることが考えられます。そのことを念頭に、今後のコミュニティ・スクールの検討を着実に進めていただくよう要望します。

最後に、県立相原高校の移転についてです。県立相原高校は、専門高校として伝統と特色のある学校であり、農産物の販売や学校の一部を地域住民に通路として開放するなどにより、現在の場所で長い間親しまれてきた歴史があります。今回、リニア中央新幹線の駅の設置により、移転を余儀なくされるわけであり、保護者や生徒、OBなど学校関係者には、丁寧な説明が必要であります。また、移転先の住民にも、今後、情報提供が必要になってくることから、移転後、学校関係者に移転して良かったと思われるよう、また、現在と同様に地域の住民に親しまれるような学校づくりに努めていただくことを要望します。以上、付託された諸議案に賛成します。